



総合目次

口 絵	自然	村政	歴史	産業	文化財	教育	福祉
発刊のことば						村長	池田 深
発刊を祝して						議長	吉田 寶一

一 自然と風土

村の概要 地形と地質 気象と気候 植物と動物

二 原始・古代

原始時代 古墳時代 奈良・平安時代

三 武士と水軍の世紀

鎌倉時代 戦国乱世と村上水軍 秀吉の四国統一

四 近世の社会と生活

封建支配の完成 島民の年貢負担 産業と海運 村人の生活と文化

五 行財政・福祉の推移

村政の発展 財政の推移 福祉と保健衛生 治安・消防・兵事

六 産業と開発

農林業 水産業 石灰石採石業 離島振興と土木建設
商工業と交通 人・創造・未来

七 教育文化

学校教育 社会教育

八 民俗・芸能

神道 佛教 民俗と文化 弓祈禱神事 伝説と民話

附一 関前村年表

二 関前村古文書目録

あとかぎ
編纂委員名簿

教育長 小西 和重

附一 関前村年表	九四九
二 関前村古文書目録	九七四
一 自然と風土	一
二 原始・古代	七九
三 武士と水軍の世紀	一一七
四 近世の社会と生活	一五九
五 行財政・福祉の推移	三五一
六 産業と開発	五〇五
七 教育文化	六八三
八 民俗・芸能	七六五

1 村の概要

- 一 沿革と位置……………3
- 沿 革 数理的位置 交通的位置
- 地域的特性
- 二 地勢と面積……………8
- 地勢と広がり 面積
- 三 人口と戸数……………10
- 人口・世帯数の推移 大下島の人口
- 就業者別人口 人口の動態 人口の構造
- 集 落

2 地形と地質

- 一 地 形……………24
- 地 勢 地 形 堀と沼 海岸の地形
- 二 地質と土壌……………33
- 地質と岩石 小大下島の石灰岩 土 壤
- 三 海況と海底地形……………37
- 潮流 関前灘の海底 他の海域

3 気象と気候

- 一 気候・天候……………43
- 気 候 気 温 降水量 風と天候・気象

- 二 自然災害……………47

江戸期の災害 明治十七年の台風と高汐
明治三八年の水害 戦前の水害
戦後の災害 平成三年秋の台風

4 植物と動物

- 一 植物・海藻……………57
- 植 生 巨 木 社 叢
- 山草と薬草 海 藻
- 二 動 物……………67
- 鳥獣類 昆虫類 チョウとトンボ
- 海岸動物 魚介類

海岸美の鳥せきぜん(30) 戦後の風水害(50)
せきぜんの巨木・銘木(60) 四季の花せきぜん(62)
蝶の鳥せきぜん(70) 海浜の小動物(75)
味魚せきぜん(76)

1 原始時代

- 一 旧石器時代……………81
- 旧石器時代の瀬戸内海 象と伊予
- 二 縄文・弥生時代……………84
- 縄文の温暖化 生活の変化 海の生活
- 原始的な焚寄漁法 石亀と巨石崇拜
- 弥生時代

2 古墳時代

- 一 時代区分と古墳の分布……………93
- 前期古墳 後期古墳 鯨岡古墳
- 相の谷古墳群 越智郡陸地部 芸子の島々
- 二 正月鼻古墳群……………98
- 古墳群の発見 分布 出土物
- 古墳の謎 大番さん 古墳期の生活

3 奈良・平安時代

- 一 古代の政治と文化……………105
- 律令下の郷土 姓と地名 古代の文化
- 二 古代山城……………108
- 朝鮮半島的情勢 古代山城観音崎
- 甲ノ峯 園地山 大石ノ峰 火山

- 三 海賊の発生……………
- 武士のおこり 純友の乱 乱の意義と終末

1 鎌倉・室町時代

一 源平争乱と河野氏	119
源氏の拳兵 村上清長の討死	
通信の勢力回復 壇ノ浦の戦い	
二 海賊から水軍へ	122
海賊衆 村上氏の起こり	
三 河野氏の勢力	124
守護職河野氏 承久の乱と河野氏	
元寇と河野の後築地 南北朝の内乱と河野氏	
高縄城から湯築城へ	
四 河野氏の盛衰	129
細川氏の伊予侵入 通堯南朝へ味方	
通堯帰国 通堯の戦死 亀王丸の河野家継承	
河野家の内紛	
二 水軍の城砦	134
城砦の構造 宮山城 宮山城と禪寺・真宗寺	
二 郷土の城砦	142
大下城 観音崎城 岡村城	

3 秀吉の四国統一

一 統一と四国の情勢	147
河野氏の動き 毛利勢の伊予侵攻	
越智郡の諸城落成	
二 朝鮮の役と水主	149
文禄慶長の役 戦争の推移 領主の交替	
三 水軍の解体	153
城割り 因島村上氏の鞆への移動	
水軍解体後の事件	

1 封建支配の完成

一 藤堂・加藤家の支配……………162

 高虎以前の支配 藤堂高虎の入部

 加藤嘉明の支配 蒲生忠知時代

二 松山藩の藩政……………165

 松平定行の入国 松山藩政の推移

 政治犯の流刑 享保の飢饉と流罪

 久万山騒動の余波 中川伝吾の流罪

 遠山甚太郎の遠島

 景浦金三・山口岩太郎らの流刑

三 島方の行政(郡役人)……………173

 島方代官所 代官所の統廃合 手代・元締

 郡会所 大庄屋・改庄屋

四 村の成立と村方の支配……………180

 内海島嶼部へ漂海漁民の定住

 小大下イカリ網代の開発 岡村の六軒株

 村方役人(三役) 庄屋 岡村庄屋松垣氏

 大下村庄屋村上氏 戸口調査と宗門改

 岡村の人口 大下村の人口 人口の移動

 高齢者への祝 高札場と村船 小大下島論争

 明和の争論 村政と村入用

2 島民の年貢と諸負担

一 村高と田畑……………204

 本百姓と水呑 村高 田畑

 新田畑の開発 株頭制度 畑の他領売り

 地割(地坪)制度

二 年貢と諸負担……………216

 伊子の七ツ免 高内又七の春免 本年貢

 小物成(雑税) 囲碁の制 米作

 その他の作物 牛馬と伯楽 肥料

 凶作と飢饉 豊作・雨乞の祈祷

三 林政と林業……………229

 山林の所有 岡村の藩有林 御用木と大木改

 分一と運上 村と鉄砲

3 活発な産業と海運……………233

一 漁場と漁業生産……………233

 概要 網代の開発 漂海漁民と岡村

 岡村の漁場 漁法 漁師の負担

 煎海鼠の上納 魚類の販売 製塩

 漁場紛争(文政五年 天保期 嘉永・慶応期 明治初年)

二 商工業・職人……………248

4 村人の生活と文化

一 衣食住とくらし……………302

 村人のくらし 儉約触 衣食住

 岡村の大火 出稼

二 生活の苦勞と救済……………314

 難洪者の救済 天保の飢饉 幕末期の困窮

 疫病の流行 博奕と処分 出奔・欠落

 盗難と喧嘩 雑事件 座頭・警女の保護

三 信仰生活と教育・文化……………324

 心学と庶民の教化 寺子屋

 四国遍路と伊勢参り 有馬入湯 娯楽

 医療 文学 信仰 善照寺

 法珠寺 姫子鷗神社 大下早津佐神社

 小大下碓明神 神仏分離と合祀

四 幕末維新と島民……………336

 異国船の渡来 藩の対応 沿岸の警備

 台場の築造 大下の海岸見張番所

 農兵の組織 長州征伐 第二次征長

 献納献金 藩政終末期の世相

 土佐藩の占領 廢藩置県 維新期の庄屋

一 村方の商業 商業の取締り 酒と油

 他の商品の販売 市と祭り 貨幣と金融

 木綿業 職人

二 小大下島の石灰石……………261

 概要 創業期の小大下島 天保期の稼行

 嘉永・安政期の再興 原石の移出

三 海運業の発展……………266

 概要 藩法と海運の支配 船(石数)改

 内海航路の発達 岡村港の改修

 上方での滞銀一件

四 海運の諸相……………273

 水主役 参勤交代 狼煙場と篝火所

 水主賃銀のからくり 公儀役人の通航

 分銅・秤改の入村 測量方役人の廻村

 巡見使の通行 海難処理 海難の例

五 白濁の繁栄……………287

 概要 白濁の開発

 村方による宝暦期の繁栄 文政期の白濁

 白濁への出開帳 天保期の白濁

 白濁最後の繁栄 白濁の借財 白濁の衰退

1 村政の発展

- 一 愛媛県の成立と戸長時代……………354
 - 県の統廃合 区制の実施
 - 郡区町村編成法 戸長期の村政
 - 地租改正 越智郡々制
- 二 関前村の出発……………364
 - 関前村の成立 村名の由来
 - 役場の位置 村会の開設 歴代議員
 - 戦前の村議会 戦後の村議会
 - 区会の設置 部落常会と自治会
- 三 村長と村政……………381
 - 井村亮村政 井村利達村政
 - 松垣信庸村政 村上利右衛門と井村篤夫
 - 大正昭和期の井村亮 美藤清文村政
 - 美藤芳人村政 池田深村政
 - 助役と収入役 行政組織の変遷
 - 役場吏員 村民各位へ
- 四 村政の協力者……………412
 - 監査委員 公平委員 固定資産評価委員
 - 人権擁護委員 選挙管理委員

2 財政の推移

- 一 戦前の財政……………416
 - 明治期の財政 大正期 昭和期
 - 基本財産
- 二 戦後の財政……………423
 - 生産と所得 戦後のインフレ
 - 近年の財政

3 社会福祉と生活

- 一 社会福祉……………436
 - 沿革 生活保護 民生委員
 - 児童福祉 保育所 母子福祉
 - 身障者の福祉 遺族・引揚者援護
 - 福祉施設 社会福祉協議会 老人福祉
 - 老人の医療と保健 老人クラブ
 - 長寿・敬老
- 二 保健・衛生……………459
 - 沿革 伝染病対策 種痘
 - 隔離病舎 戦後の衛生 健康のカルテ
 - 医師 診療所の開設 保健婦
- 三 国民健康保険と年金……………469
 - 国民健康保険 年金制度

四 環境衛生

- ごみ・し尿処理 清掃活動 衛生組合
- 火葬場

4 治安・消防・兵事

- 一 治安……………478
 - 治安 駐在所
- 二 消防活動……………480
 - 消防組の設置 消防団の結成
 - 消防委員会 越智郡島部消防組合
- 三 兵事……………486
 - 明治初年の兵役 日清・日露の戦役
 - 大正・昭和期の戦役 太平洋戦争
 - 戦争の経過 戦没者名簿

村政百年記念(398)
村の宝物園児たち(412)

1 農林業

- 一 農業の近代化……………508
 - 農地改革 農業の近代化
- 二 果樹産業……………516
 - 果樹の発展 共販体制の確立 計画密植
- 三 農業団体……………524
 - 農業協同組合 園芸組合 農業会
 - 柑橘出荷組合 煙草耕作組合

2 水産業

- 一 沿革……………534
 - 明治初年の漁業 漁業組合の設立
 - 遠海出漁 大正・昭和初年の漁業
 - 漁業紛争 戦後の漁業
- 二 漁場と漁法……………547
 - 漁場 漁具漁法 サワラ漁
- 三 近年の漁業……………555
 - 漁家と漁獲 漁業協同組合 養殖業

3 石灰石採石業

- 一 沿革……………567
 - 明治初年 明治中期 大正期以降

- 二 戦後の採石 採石業の終焉……………584
 - 小大下島石灰石鉱山の歴史
 - 主要鉱山誌……………584
 - 本村上鉱山 小大下鉱山
 - 井村石灰石鉱山 小大下石灰石鉱山
 - 関前鉱山 大下島石灰石鉱山
 - 各鉱山の生産実績

4 離島振興と土木建設

- 一 離島開発と振興……………588
 - 離島振興法 離島センター
 - 農林漁業近代化事業 過疎対策
- 二 土木建設事業……………592
 - 概要 明治期の海面埋立
 - 時局匡救事業 失業対策
 - 戦前の災害復旧事業 戦後の災害復旧
 - 戦後の埋立 土地改良事業
- 三 道路建設……………602
 - 大正期 近年の道路工事 農道建設
- 四 港湾建設……………604
 - 概要 明治の岡村港
 - 大正四年の防波堤計画 大正十年の大修築
 - 昭和三、四十年代の改修 近年の岡村港

6 人・創造・未来

- 一 観光と文化……………657
 - 観光開発 民宿・喫茶 文化財の保護
 - 文化活動
- 二 夢の村づくり……………673
 - ふる里創生村おこし
 - コミュニティ・アイランド 未来への架橋
 - 二十一世紀への目標 人・未来・せきぜん
 - 石灰採石懐旧(574) 岡村港のおもかげ(606)
 - 船・今はむかし(652) サマーフェスティバル(664)
 - せきぜん村美術(666) 産業文化祭(668)
 - はくらのあーと(670) せきぜん顔一〇〇(676)

5 商工業と交通

- 一 商工業……………619
 - 明治期の商工業 信用・金融
 - 大正期の産業 戦後の商業
 - 工業と建設業
- 二 交通と通信……………629
 - 概要 道路交通 岡村・大下の一周道路
 - 車両の増加 関前郵便局 電信・電話
 - 映像の時代
- 三 海運と海上交通……………641
 - 岡村の渡海船 大下の渡海
 - 村宮船の就航 民間の定期航路
 - 港湾港勢 岡村の海運業
 - 関前村機帆船協同組合 航路と関前
 - 大下島灯台
- 四 住宅建設と水道……………614
 - 大下港 小大下港 白濁港
 - 城ノ谷漁港 海岸保全事業
 - 水道の概要 水道事業の歩み
 - 公営住宅 電気の導入

1 学校教育

- 一 教育制度……………685
 - 明治期 大正時代……………685
- 二 昭和時代の教育……………690
 - 昭和初期 戦時体制下の教育 青年教育……………690
 - 戦後の教育 占領下の教育……………690
- 三 学校制度の改変 教育内容の改訂……………698
 - 学校の変遷……………698
 - 大下小学校 岡村小学校 小大下校……………698
 - 関前中学校 岡村・大下中学校……………698
- 四 教育委員会……………725
 - 委員会制度 市町村教育委員会の誕生……………725

2 社会教育

- 一 社会教育の沿革……………727
 - 明治・大正期 戦 後 社会教育委員……………727
- 二 公民館……………731
 - 公民館の発足 館の運営 離島センター……………731
- 三 社会体育……………740
 - 発 足 関前村体育協会々則……………740
- 四 文化活動……………744
 - 発 足 活動内容……………744

五 各種団体

- PTA 戦前の青年会 青年団……………746
- 婦人会の発足 戦後の婦人会……………746
- 老人クラブ……………746

1 神道

神道の形成と発展……………769

神道の意義 姫子陽神社の創立 歴代神主

社中職各位階家筋世代 姫子陽神社の概要

井村家系図より 早津佐神社の創立

社中職各位階家筋世代 木野山神社

小大下島の神社

二 神社棟札の調査……………783

三島大明神分 道祖神分 金毘羅宮分

荒神宮分 蛭子神社分 祇園宮分

観音崎・浦安神社分 天照皇太神宮

住吉明神分 龍神宮分 小大下島分

2 佛教

一 浄土真宗の伝播……………791

芸備地方の真宗 岡村島への波及

石山本願寺の攻防

二 真宗寺院の開創と善照寺・法珠寺……………794

真宗の浸透 常高寺了空の布教

幕府の宗教政策 キリシタン禁令

檀下制度

三 善照寺の創建と発展……………798

善照寺の概要 善照寺縁起 善照寺略誌

善照寺の改築 明治四年寺社明細帳

岡村と禪宗 南潮山智勝寺

四 法珠寺の創立と由緒……………804

沿革 世代住職 法珠寺由緒(一)

法珠寺由緒(二) 法珠寺由緒(三) 照方寺

五 観音堂と観音崎……………809

観音堂の由来 智勝寺と墓標群

堂の建立と規模 観音堂の修理

本尊と開帳 堂内外の諸像 献納物

観音堂の堂守 岡村一件

観音堂廃堂の危機 観音堂本尊の由来

六 観音崎と燈明台……………821

観音崎の展望 燈明台

天保期の油料収支 常夜燈油料の支出願

観音崎の公園化と整備 観音崎と文学

頼杏坪らの来遊 明治期の詩文

七 講と信仰……………831

講の意義 岡村島の講 石鎚講

法珠寺講 一畑講 宮島講 講集団

報恩講 三島講 和霊講 頼母子講

至誠会

3 民俗と文化

一 衣・食・住……………835

概要 水 衣生活 普段着・アイマ着

食生活 主食と副食 食事

住居の変化 農家の住居 出稼ぎ

浜子稼ぎ 杜氏 生活の変化

二 年中行事……………853

概要 正月の行事 春の行事

夏の行事 秋の行事 年越しの行事

三 通過儀礼……………871

婚姻 出産 葬制 追善

4 岡村島弓祈禱

一 弓祭りの運営……………877

来歴 組み分け 弓祭り組

統合後の組の組織 当頭・当脇

当家人 弓祭り行事 当人の役付人数

当人の仕事

二 射手・射場・的……………883

射手 射場 的

三 巻藁宿・射手衆の練習……………890

巻藁宿の決定 射手の練習

四 射場見……………892

初祭礼万覚帳 姫子陽神社祭事用弓術

五 弓祭り神事……………892

射手衆の水垢離 弓祭り次第

七度半の使い 迎え神事 諸役の口上

射手衆の射 各種の掛け ツツ

射手 担ぎ手 射止めの扇 鼠的

射手への賞

六 祭りの終り……………899

射場発ち 終了奉告祭 初祭礼祭覚

伊勢節 射手衆の迎え 諸役の挨拶

茶席と宴席 射手衆退出

七 初祭り運営費……………902

経過 初祭礼万覚 購入品

八 大下島の弓祈禱……………904

5 伝説と民話

一 地名……………906

地名の重要性 関前村・灘 岡村島

大下島・村 小大下島 観音崎

白湯 城の谷 地坪帳の小事

岡村地誌 大下村地誌 郷土誌稿の字名

二	民話・伝説……………	910
	おにが島　お汐と亀松　正月鼻	
	観音崎の千日参り　七つ地藏さん	
	岡村島の白岩と盆石	
三	民謡……………	914
	弓祈禱　秋祭りの木遣り　亥の子歌	
四	盆踊り唄……………	917
	岡村島音頭　お汐亀松口説　山三口説	
	平井ごん八　俊徳丸一代口説	
	鈴木主水口説　阿波の十郎兵衛	
	石童丸口説　木山音頭	
五	音頭本より……………	924
	桜惣五郎口説　親鸞聖人十七谷修行	
	石童丸物語　婦人協会心画形見音頭	
	平井権八物がたり　お梅伝次	
	お千代山田　お汐亀松　播州皿屋敷	
	阿部安那　巡礼お鶴　忠臣義士	
	宮きうしのぶ　丸亀請取口説	
六	わらべ唄……………	927
	手まりうた　遊びうた　今度来る時や	
	関前みかん小唄	
七	方言……………	929
	方言の特色　方言集	

観音崎のおもかけ (810)
 観音崎の島せきせん (826)
 村井戸と井戸 (836)
 観音堂御開帳 (814)
 盆おどりせきせん (860)
 せきせん村祭り (864)
 弓祭りの村せきせん (886)